

各位
2019年10月10日(木)

東洋製罐グループホールディングス株式会社

～容器から日本の様々な社会課題の解決に挑戦～

東洋製罐グループの次の100年をつくる「OPEN UP! PROJECT」始動！

**第一弾として、“日本酒”の在り方を変革し、
お祭りに新たな価値を提供するとともに地域創生を起こす
祭り訪問型日本酒充填サービス『詰太郎』提供開始**

創業100年を超える東洋製罐グループは、この度、次の新しい100年を創造するべく、これまで培った容器の技術力やノウハウを活かして一人ひとりが抱える課題を解決していくことを目的としたイノベーションプロジェクト『OPEN UP! PROJECT』を開始することをお知らせいたします。

同時に第一弾として、小さな酒蔵でもお祭りなどのタイミングにあわせて小ロットからオリジナルの日本酒缶を製造できる祭り訪問型日本酒充填サービス『詰太郎』を、“缶詰の日”である10月10日（木）より開始いたします。



■“容器”から様々な社会課題の解決に挑戦するイノベーションプロジェクト

100年以上の歴史を持つ東洋製罐グループは、これまで時代によって変化する世の中の課題に対して真剣に向き合い、“日本初の自動製罐”や“アイスクリームの紙カップ”、“世界初のレトルトパウチ”の発明など容器のイノベーションに常に挑戦し続けてまいりました。

そして今、人々が同じものを使い、食し、同じ生き方を求める“大衆の時代”から、それぞれが選んだ生き方を求める“個の時代”へと変化しています。その中で東洋製罐グループは、次の100年を創造するべく、大衆にとどまらない細かなニーズと一人ひとりが抱える課題に向き合うことでイノベーションを起こし、より豊かな社会の実現を目指すプロジェクト『OPEN UP! PROJECT』を発足いたしました。

(『OPEN UP! PROJECT』公式サイトURL：<https://jp.open-up.tskg-hd.com/>)

■お祭りにおける“日本酒”とそれを取り巻く地域の課題解決へ

『OPEN UP! PROJECT』の第一弾の取り組みでは、これまで様々な地方や酒蔵と取り組みを行うなかで存在した“日本酒”とそれを取り巻く地域に関する課題に着目いたしました。現在日本酒で一般的な瓶詰めは、高級感の演出や大容量を充填するには最適である一方、重くなることや敷居が高く手に取りにくい

ことがあります。そのため、地方の小さな酒蔵は、お祭りやイベントなど多くの人が集まる機会があっても、ビールのようにより気軽に楽しんでいただいたり、お土産として持ち帰っていただくにはハードルが高いという課題がありました。

そこで今回、「夏祭り」、「花火大会」、「雪まつり」、「イルミネーション」、「お花見」など、国内外の多くのお客様に日本酒をアピールできる「お祭り」に焦点をあて、小さな酒蔵でも小ロットから手軽なサイズのオリジナル日本酒缶を製造できるお祭り訪問型の日本酒充填サービス『詰太郎』を開始いたします。『詰太郎』は、出張レンタル型のサービスのため、ニーズが高まるタイミングにあわせて、最小ロット1,000缶からオリジナルの日本酒缶を生産可能です（※）。1合サイズの日本酒用アルミ缶専用の移動式簡易充填機をレンタル。新たな設備投資をせず、小さな酒蔵でもお客様に気軽に日本酒を楽しんでいただける機会を提供します。また、缶で生産することで、瓶よりも割れづらく、軽量かつ低価格で品質を保ったまま展開することが可能になります。

※最小ロット（1,000缶～）は無地の缶、印刷によるオリジナル缶詰は万単位となります。

さらに、スマートフォンやタブレット端末のカメラで缶のパッケージを撮影することで、事前に制作した動画や3DCG、アニメーション、音楽などを楽しむことができるARアプリ『パケうおっち』もあわせて酒蔵に提供。お祭りのあとでも動画を見ながらその土地の日本酒を飲むという新しい“体験”をお土産にさせていただきます。

（『詰太郎』概要URL：<https://jp.open-up.tskg-hd.com/ideas/tsumetaro/>）

東洋製罐グループでは、小さな酒蔵を活気づけることが、若者の日本酒離れの一助となり、ひいては地域創生につながると信じ、日本全国で『詰太郎』に取り組む予定です。今後とも、『OPEN UP! PROJECT』では、様々な社会課題に向き合い、解決していくことを目指してまいります。

■一ヶ月で20,000缶出荷した『詰太郎』先行事例

『詰太郎』は、今回の正式提供に先行して秋田県大仙市の「大曲の花火」にて、地元の老舗酒蔵と取り組みを実施。「大曲の花火」をモチーフにしたオリジナルデザインと低価格さで注目を集め、当日はお土産としての需要も高く、なかにはお一人で100缶購入された方もおり、販売ブースでは完売となりました。結果、花火大会前後の一ヶ月で20,000缶が出荷され、『パケうおっち』のデータから秋田県のみならず日本全国及び海外へも広がっていることがわかるなど、非常に大きな反響をいただきました。

ロゴデザインに込めた想い



OPEN UP!（切りひらく）して生まれてくる発明の期待感を表現するため、モチーフに「卵」を使用。東洋製罐グループのイメージカラーである虹色の線を重ねることで、全体を包んでいる卵が今にも割れて生まれ出しそうな動きも表現しています。東洋製罐グループのシンボル「メビウスの輪」は「生産・充填包装・流通・消費・回収再生」のサイクルを表し、情熱と執着心を持って、現実を理想に近づける終わりのない旅を意味しています。今回のロゴに使われている「卵の輪」も、努力を繰り返しながら課題を乗り越え、未来を切りひらくための挑戦を続けていくことを意味しています。

プロジェクトステートメント

つくる、生まれる、未来がひらく。

社会は、一人ひとりでできている。
ひとりを幸せにしよう。それをくり返そう。
目の前の一人に向き合うことで、
今まで気づけなかった課題が見えてくる。
健康の悩み、食への不安、守るべき環境。
それぞれの課題を解決する糸口は、
きっと、もう私たちの中にある。
100年以上磨いてきた容器の技術を手へ。
進もう、誰も挑戦したことのない方へ。
すべての一人が笑顔になる日まで。

『詰太郎』設備仕様

設備	仕様
リンサー	エアース式（ノズル2本・空き缶は手動投入）
フィルター	ピストンフィルター（1ヘッド、180mL定量充填） 異物除去フィルター付き
シーマー	1ヘッド
その他付属設備	実缶集荷付きターンテーブル
	CIP洗浄用のタンク（充填機本体とは別置き）
	ベビーコンプレッサー（充填機本体とは別置き）



注意事項

- ・必要ユーティリティ三相200V 30A
- ・本機で内容物の加温、湿度制御、及び殺菌は行いません。
- ・CIP洗浄用の温水はお客様でご用意いただく必要があります。
- ・充填環境内は微陽圧、全面カバー付きになります。
- ・空き缶等の資材費用は別途必要になります。

会社概要

会社名：東洋製罐グループホールディングス株式会社

創立：1917年（大正6年）6月25日

代表者：取締役社長 大塚一男

本社：〒141-8627東京都品川区東五反田二丁目18番1号大崎フォレストビルディング

URL：<https://www.tskg-hd.com/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】
『OPEN UP! PROJECT』事務局 担当：三木
tel：03-4586-6504 mail：open-up@tskg-hd.com